



施設編 - セッション5

自己評価の質問

1. 回避型の愛着パターンを形成した子どもは、
 - a. 同年代に対して大人として振る舞おうとする
 - b. 自分で自分を育てようとする
 - c. 養育者との接し方が実際の年齢よりも幼い
 - d. 同年代に比べ、実際の年齢よりも幼くみえる

2. 愛着パターンに反映されるものは、
 - a. 実親／乳幼児期の養育者らとの関係である
 - b. その子の性格である
 - c. その子の同年代の子に対する態度である
 - d. 実親からその子に遺伝した性格である

3. 回避型の愛着パターンが形成される可能性があるのは、
 - a. その子に対する養育者の愛情が強すぎる時
 - b. 養育者が身近な存在でありすぎる時
 - c. aとbの両方
 - d. どれも該当せず

4. 乳幼児期の養育者の入れ替わりが激しい場合に、子どもたちが呈する可能性が高いのは、
 - a. 健全な愛着行動である
 - b. 不安定または有害な愛着行動である
 - c. 物や動作だけに対する健全な愛着行動である。
 - d. 養育者ではない人に対する健全な愛着行動である。

5. 回避型の行動を呈する子どもたちは、養育者に愛情を求める気持ちを抑えるために、
 - a. 同年代の子に愛着する
 - b. 一人の養育者に過剰に愛着する
 - c. 物や動作に過剰に愛着する
 - d. 上記すべて